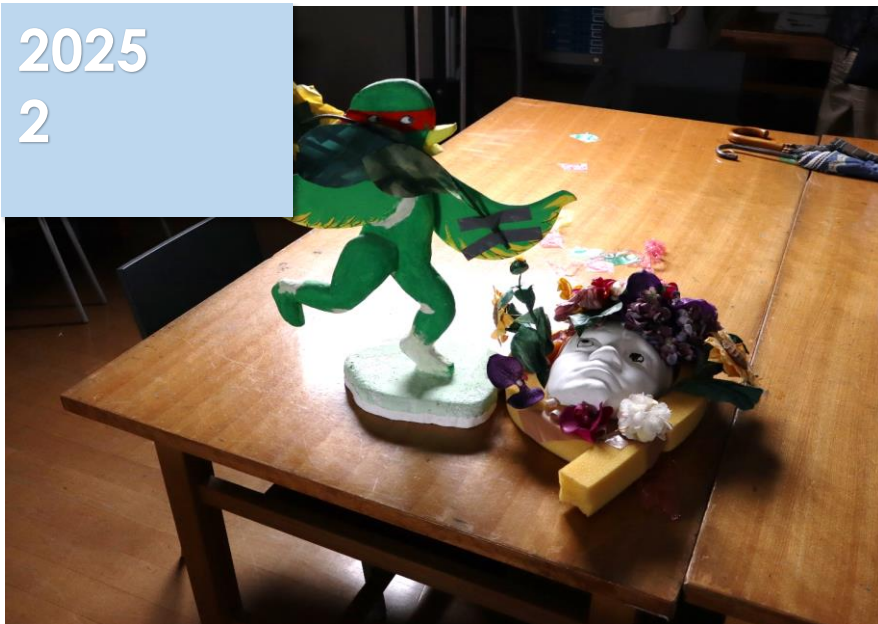


2025
2



特別展 阪神・淡路大震災30年 「1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち」 展開連こどものイベント

「暗号解読」

- 開催日時：2025年2月23日(日) 13:30～15:30
- 講師：田村 友一郎 氏（現代美術家）
- 参加者：こども15名、保護者8名
- 対象：小学校4年生～高校生 ※保護者も参加可
- 場所：アトリエ2、企画展示室

■1 オリエンテーション

まず、「30年目のわたしたち」展の出品作家の田村友一郎さんから、自己紹介とこれまでの作品の紹介、今回のイベントの内容についてお話をいただきました。

田村さんは物事から想像されるイメージを組み合わせる作品を作っています。そこで今回は、こどもたちのグループには新聞のニュース（文字情報）を、アトリエにある物を組み合わせることで表現（暗号化）してもらい、大人には野球のサインボールの解読に挑戦してもらいました。

■概要

「30年目のわたしたち」展の出品作家の田村友一郎さんと一緒に、物を組み合わせて暗号を作ったり解読したりした後、展示を鑑賞します。



田村友一郎さんからの説明

◇参加者の感想（※原文をそのまま紹介）

- ・新聞の中を作るのがとっても楽しかった（小4）
- ・足して足して引くことが大切（小5）
- ・私より年下の子達ばかりでしたが、みんな感性が大人だなあと感じる部分があり、一緒に作ったり見たりしていてとてもおもしろかったです（高2）

- ・子供と一緒にやるものと思っていましたが、大人どうしでもコミュニケーションがとれて新鮮でした（保護者）
- ・暗号を解読する本やイベントは多いが、自分で暗号を作るということはあまりしなかったことがなかったので、子どもたちは「どうやったら相手に伝わるか」を必死に考えて、良い経験になったようだ（保護者）

■2 暗号作成（こども）とサイン解読（大人）

こどもたちはいくつかのグループに分かれての制作です。当日の朝刊から社会面と地域面をコピーして配布。それぞれ気になったニュースを選んで、造形化してもらいました。

中央のテーブルに並べられている石膏像や造花、文房具にドライヤーなど様々な物を組み合わせて立体を作ります。初めは戸惑っていたこども達も、こどものイベント担当の相良学芸員からマスコットの「イベちゃん」とその仲間たちの由来を聞いて、物と物を組み合わせて表現するコツをつかんだようで、その後は、一気に制作が進みました。大人チームもサインを真剣に解読します。



暗号制作の様子



暗号解読の様子

■3 暗号解読（こども）とサイン解読結果発表（大人）

こどもたちのグループは机ごとに制作した暗号を披露します。他のグループのこどもたちは2種類の新聞の社会面と地域面に掲載された数多くのニュースの中からどのニュースを暗号化しているのか解読していきます。抽象的に表現された立体を見て、どのニュースか当てられるのか心配していましたが、こどもたちは新聞片手に見比べながら次々に当てていきます。こどもたちの力に改めて驚かされました。大人チームもサインの解読結果をこどもたちに披露。その解読結果の結果は2勝2敗でした。難解なサインが多い中、大人チームも大健闘です。

■4 ふりかえり

最後に、田村さんと一緒に展示室に移動して作品を鑑賞しました。制作を経ることにより解読力が高まったようで、田村さんの展示の中にちりばめられた多様な要素を解読しながら鑑賞することができたようです。

今回の展覧会は6組7名の作家が参加していることもあり、冒頭の田村さんの展示に続く他の作家の作品も鑑賞してもらいたいという田村さんの思いから、鑑賞後は自由解散にしました。

今回は共同制作の魅力を感じるイベントとなりました。こどもたちは新たな友達ができたと、大人の方は見守りでなく参加者として参加できたことに対し喜びの声をいただきました。これからも多様な美術に触れるさまざまなイベントを開催したいです。



作家とともに鑑賞する参加者の様子

□担当学芸員からのコメント

薄暗いアトリエに怪しく光る白い照明、机上にズラリと並んだオブジェたち、ホワイトボードに張り出された野球選手の顔写真、両脇に佇む緑とピンクの珍妙な2匹の妖精・・・なんだか不思議な舞台セットに迷い込んだようです。しかもドレスコードのとおり、田村さんも、参加者も、美術館のスタッフ達まで皆サングラス姿。作品にも通底する田村さんの巧みな、でもどこか肩の力が抜けた演出によって、気付いたら暗号作成/解読の新米エージェント・チームが誕生していました。終了後はこどもたちのお願いで田村さんによるプチサイン会も。学校の美術の授業とはまたひと味もふた味も違う今回のワークショップが、“わからない”と敬遠されがちな現代美術に気軽に触れるキッカケになってくれたら嬉しいです。
(中学学芸員)